

# ルールブック更新ガイド 2018年度版

7ページ

## 1.3 審判員の役割

新文章：

### 1.3.7

- ・ 競技者の一人が立ち技の攻防でセーフティーエリアに踏み入った場合（テイクダウンが既に始まっている場合を除く）又は、床に留まってない状態で両者の身体の3分の2が場外に出た場合、審判員は試合を中断し、試合場の中央において、2名の競技者に立った状態から試合を再開させる。
- ・ セーフティーエリアを完全に越えた場合は試合を中断し、試合場の中央において立った状態から試合を再開させる。ポイントやアドバンテージの判定はセーフティーエリアまでは有効であり、セーフティーエリアの外で行われたいかなるプレーも無効となる。

14ページ

## 1.4 審判員のジェスチャーおよび掛け声

追加項目：

状況：

競技者が、対戦相手の道衣の袖口又は裾口を、一本以上の指を内側に入れた状態で掴んだ場合。

ジェスチャー：

リストバンドをしている方の腕の上に、手の平が上に向いた状態でもう一方の腕を置く。

掛け声

—

追加項目：

状況：

ビデオ映像、及びリプレイ映像へのアクセス権利を持つ2人の審判員によるポイント、アドバンテージ、ペナルティーなどの変更報告が主審に行われた場合。

ジェスチャー：

指先で耳を2回、ゆっくりと触れる。

16ページ

## 第2条 勝敗の決定

追加項目：

### 2.7 無作為判定

#### 2.7.1

階級別の決勝戦において、両方の競技者が偶発的に負傷し、アクシデント時のスコアが同点であり、かつどちらの競技者も試合を続行する事ができない場合は、勝者は無作為に決定される。

## 17ページ

### 第3条 得点方法

3.3 サブミッションを仕掛けられている状態で得点ポジションを得た競技者には、対戦相手の攻撃を完全に防御して、ポジションを3秒間維持した場合にのみポイントが加算される。

新文章：

3.3.1 得点ポジションでサブミッションを仕掛けられている競技者が、相手の攻撃を防御した時点で得点ポジションにいなかった場合、競技者にはアドバンテージは与えられない。

追加項目：

#### 3.3.2

1つの得点ポジション又は複数の得点ポジションに進展したが、3秒間の維持をカウントする最中にサブミッションを仕掛けられてしまった場合は、カウントを中断する。この際、サブミッションを防御した時点で得点ポジションにいない場合、あるいはそのまま試合が終了した場合も、競技者には各得点ポジションに対してアドバンテージが与えられる。

新文章

#### 3.3.3

1つの得点ポジション又は複数の得点ポジションに進展したが、試合終了までに相手のサブミッションを防御できなかった場合は、競技者には1つのアドバンテージしか与えられない。

## 18ページ

### 4.1 テイクダウン（2ポイント）

新文章

#### 4.1.1

競技者が、対戦相手を背中、体側、または尻から床に倒して、トップポジションを3秒間維持する。テイクダウンの動作が開始された時点で、競技者の両足が床に着いていなければならない。

追加項目

#### 4.1.4

スweepの動作で両者が立ち上がったが3秒以内の時間あれば、防御をしている競技者が相手を背中または体側から床に倒しても、テイクダウンの2ポイント又はアドバンテージは与えられない。

追加項目

#### 4.1.5

ガードポジションから両者が立ち上がり3秒以上経過した場合は、立ち技からの展開とみなされる。

・3秒間のカウントを始めるには、一方の競技者が両足を床に着いた状態で、もう一方の競技者は少なくとも片足を床に着いた状態で、かつ反対側の膝が床に着いていない状態である必要がある。

## 追加項目

### 4.1.6

対戦相手が床に片膝または両膝を着いている場合、テイクダウンを仕掛けた競技者がその動作を行った瞬間に立っている状態である場合にのみ、その競技者にポイントが与えられる。スweep動作の項目での状況は例外となる。審判員は競技者がトップポジションを3秒間維持したあとにポイントを与える。

相手が膝を着いている状態でのテイクダウン、又はガードとみなされる動作からのテイクダウンに対しては、ポイントは与えられない。

## 19ページ

### 新文章

### 4.1.9

競技者が立った状態で、バックコントロールを防御する為に相手を投げた場合、両足がフックされている状態から、片足がフックがされている状態から、あるいは床に相手のどちらの足も着いていない状態からの技であれば、3秒間維持してもテイクダウンのポイント又はアドバンテージは与えられない。

## 20ページ

### 4.2 パスガード（3ポイント）

## 追加項目

競技者がトップポジションからの攻撃を行った際に（例として腕十固め）、結果的にボトムポジションになったが、相手にサイドコントロールを取られるのを防ぐ為に足を使わなかった場合は、パスガードの定義に従わないためポイント又はアドバンテージは与えられない。

### 4.3 ニーオンベリー（2ポイント）

### 新文章

競技者がガードポジションを掛けられていない状態で、相手の骨盤から近い方の足の膝又はスネを、相手の腹、胸、脇腹に乗せ、かつ反対の膝を床に着いていない状態を3秒間維持したときに、ポイントが与えられる。

## 24ページ

### 5.6.1 テイクダウンのアドバンテージ

## 追加項目

競技者がテイクダウンを仕掛けたが、あるいは複数のテイクダウンを流れで仕掛けたが、トップポジションを3秒間維持する前に相手が立ち上がった場合。項目3.4と5.5に従い、アドバンテージは相手がテイクダウンされる可能性がなくなった場合のみに与えられる。

## 5.6.2 パスガードのアドバンテージ

### 追加項目

競技者がスタッキングパスを仕掛け、対戦相手が転がり四つん這い状態になった状況で、バッククリンチでコントロールし（競技者が足のフックを掛けている必要はない）、少なくとも対戦相手の一方の膝が床に着いている状態を維持すればアドバンテージが与えられる。

### 追加項目

項目5.5に従い、対戦相手のガードポジション（あるいはガードに引き込まれた状態）から始まる展開で、競技者がハーフガードのコントロールを得るが、パスガードまでは至らなかった場合。

## 25 ページ

## 5.6.6

### スweepのアドバンテージ

### 追加項目

sweepの動作で明らかに対戦相手のバランスを失わせた状態で、上方のポジションを取ろうとしたが3秒間維持できなかった場合。

## 5.7 アドバンテージが与えられなくなった特定のケース

### 追加項目

### 5.7.1

ハーフガードのアドバンテージは、上方の競技者がパスガードの動作を行う流れからでなければ与えられない。

### 新文章

### 5.7.3

sweepの動作を開始したが、自分の防御姿勢を維持するために、意図的に動作を完遂しようとしないうちに競技者には、sweepに対するアドバンテージは与えられない。

### 追加項目

### 5.7.5

競技者がシングルレッグテイクダウンを仕掛け、対戦相手の片足を抱えた状態で場外へ押し出し審判員が試合を止める状況が生じた場合、アドバンテージは与えられない。

### 追加項目

### 5.7.6

競技者がsweepを仕掛け、sweepの動作を完遂させようとしたが、上方を一度も取ることができずに対戦相手を場外へ出してしまった場合は、アドバンテージは与えられない。

## 26ページ

### 6.1.6 懲罰的な反則

#### 追加項目

試合開始前、終了後であっても、競技者が競技会の活動環境において相容れないとみなされる態度や行動をとった場合、または違反行為があるとみなされた場合。

## 27ページ

### 6.2.2. 重大な反則

#### 新文章

A) 競技者が相手の道衣を掴まずに、膝を着く、座る、またはガードに引き込む動作を行い、その体勢を維持した場合。

J) 競技者が、試合中に言葉または身振りによって誰かとコミュニケーションを図った場合や、審判員の判定に抗議した場合。

L) 試合終了後、審判員が試合の勝敗を宣告する前に、競技者が試合場から出た場合。

## 28ページ

#### 新文章

T) 競技者が道衣などを直すのに20秒以上の時間がかかった場合にはペナルティーが加算されていく（必要に応じて、道衣や解けた帯などに20秒、黄/緑帯を巻くのに20秒、ズボンを履き直すのに20秒掛かった場合）。

#### 追加項目

W) 15歳までのカテゴリー（全ての帯）と全ての年齢の白帯の競技者が、立っている対戦相手に飛びついてクローズガードを取った場合、又は飛びつきガードから始まる全ての攻撃（飛びつき三角、飛びつき腕十字に限らない全てのサブミッション）。このような状況が起こった場合には、審判員は両者に立った状態から試合を再開させる。

**留意点** 競技者がテイクダウン又はスweepの防御を行っている際にガードに飛びついた場合は、競技者にペナルティーが与えられると同時に、対戦相手に2ポイントが与えられる。

#### 追加項目

X) 競技者が試合中又は審判員が試合の勝敗を宣告する前に、競技会の活動環境において相容れない又は適切ではない態度等を取った場合（項目6.1で説明された懲罰的な反則に該当しない態度）。

**留意点** 競技での優位性をアピールする為の動作、ダンス、又は嘲笑を浴びせる行為などを行った場合。

## 追加項目

### 6.2.3 非常に重大な反則

C) サブミッションによる攻撃等を受けている際に、意図的に反則行為を行い、審判員が試合を中断せざるを得ない状況を作った場合。

33 ページ

7条 ペナルティー

## 追加項目

戦意の欠如（ストーリング）による状況で、両者同時に3つ目のペナルティーが与えられた場合は、立ち技から試合が再開される。

35 ページ

### 8.1 道衣・ユニフォーム

## 追加項目

### シャツとラッシュガード

男女共に、体に隙間なく密着する伸縮性の生地で、ショーツのウエストラインを越える長さの黒、白、または黒白の混合であり、競技者の帯色を少なくとも10%以上含むシャツでなければならない。競技者の帯色が100%の物も認められる。

留意点) 黒帯のカテゴリーでは、ある部分に多少の赤色が含まれていてもを許容されるが、元の帯色の特徴を欠如しない程度に限る。

### 男性用ショーツ

色は黒、白、または黒白の混合で、競技者の帯色が含まれており、かつポケットが無い、もしくは完全に縫って閉じられていて、ボタンや紐などが露出しておらず、対戦相手に危害を加える恐れのあるプラスチックや金属等が付いていないショーツ。長さは大腿の中央を越え、膝を越えないこと。ショーツの下には、体に隙間なく密着した伸縮性の生地で、黒、白、または黒白の混合で、競技者の帯色が含まれている物の着用が認められる。

### 女性用のショーツ、ショーツパンツ、ズボン

ショーツパンツは、体に隙間なく密着した伸縮性の生地で、黒、白、または黒白の混合で、競技者の帯色を含む物。ショーツはポケットが無い、もしくは完全に縫って閉じられており、ボタンや紐などが露出しておらず、対戦相手に危害を加える恐れのあるプラスチックや金属等が付いていない物。長さは大腿の中央を越え、膝を越えないこと。

## 37ページ

### 新文章

#### 8.3.8

女性のカテゴリーでは、髪の毛を覆う又は纏める為にキャップの使用が許可されている。キャップは次の仕様に従う必要がある。

- ・伸縮性のある生地で頭に固定できる物。
- ・プラスチック等の固い素材が使われていない物。
- ・固定する為の紐が使われていない物。
- ・刻印・銘刻（デザイン）が入っていない物。
- ・色が黒、白、または黒白の混合で、競技者の帯色を含む物。
- ・頭全体を覆うワンピースの物も許可されている。例としてウェットスーツのような密着性のあるもので、首、耳、髪の毛を全て覆うことが出来て、黒、白、または黒白の混合で競技者の帯色を含む物。顔の部分は覆われていない状態でなければならない。

## 40ページ

### 2.4 準決勝戦と決勝戦、及び特別な場合における失格

#### 新文章

##### 2.4.1 準決勝戦

準決勝戦において両方の競技者がアクシデントにより試合を続行することができず、アクシデント時に両者のスコアが同点だった場合は、もう一方の準決勝戦がそのカテゴリーの決勝戦とみなされる。この場合は、両方の競技者が第3位とみなされる。

## 43ページ

### 5条 エントリー（申請）

#### 新文章

5.5 柔道の黒帯、レスリングの実績がある競技者、またはグレコローマンスタイルのレスリング経験者、プロMMAとアマチュアMMAの競技者は、白帯として大会に参加することは禁止されている。

※アメリカでは大学レベル以上の大会、その他の国では全国レベル以上の大会の出場実績がある競技者。

## 44ページ

### 6条 競技者の行動規範と罰則

#### 新文章

6.1 競技者が、道衣またはユニフォームの一部を、試合場内で脱いだ場合。

## 追加項目

競技者又は団体代表者・指導者などが試合開始前、試合終了後に競技会の活動環境において相容れないとみなされる態度や行動をとった場合。

### \*\*\*再配置された項目\*\*\*

3.5 両方の競技者が同時にガードポジションへと引き込んだ場合には、先に立ち上がった競技者にアドバンテージが与えられる。

考察) 上方を取った競技者が、直接サイドコントロールのポジションを取った場合には、パスガードのポイント、又はアドバンテージは与えられない。

#### 4.1.10

項目4.1に従い、対戦相手がガードに引き込む前に、先にテイクダウンの動作を取った競技者には、2ポイント又はアドバンテージが与えられる。

#### 4.1.11

競技者がテイクダウンの動作を取るより先に、対戦相手がガードに引き込む動作を行った場合には、競技者に2ポイント又はアドバンテージが与えられない。

#### 4.1.12

競技者が対戦相手のズボンをつまんでいる状態で、対戦相手がガードに引き込んだ場合、ズボンをつまんでいた競技者にテイクダウンの2ポイントが与えられる。ただし、立っている状態でポジションを3秒間維持しなければならない。

留意点) ズボンをつまんでいる状態で対戦相手がクローズドガードに引き込み、宙に浮いた状態となった場合、競技者は3秒以内に対戦相手の背中を床に着けなければならない。テイクダウンのポイントは、背中を着けさせた後に3秒間ポジションを維持してから与えられる。

#### 4.4.1

バックマウントから直接マウントへとポジションの移行があった場合（逆の場合も同様）、別のポジションとみなされる為、競技者は最初のマウントに対して4ポイントが与えられ、次のマウントに対して4ポイントが与えられる。ポイントを与えるためには、それぞれのポジションを必ず3秒間維持しなければならない。